

教育・研究業績書

講座名 分子細胞生物学		
＜教員の紹介＞ 教授 白 瀧 博 通		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月	概 要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 授業形式の改善	2004年5月～現在	講義の最初に、前回の講義の復習を行い学生の講義に対する理解度を高めている。
2. 学生による授業評価の活用	2004年5月～現在	毎学期講義終了後に独自に講義評価アンケートを学生に対して行い、学生の理解度を確認すると共に、講義内容や形式に対する学生の意見を拾い上げて次学期以降の講義に反映させるようにしている。
3. 学生の学習意欲の向上の取り組み	2004年4月～現在	最新の知見を学術論文や学会発表等から拾い上げ、将来の医学・医療の姿を適時示してそのイメージを学生に持たせながら講義を進めている。特に、基礎医学研究の臨床現場への急速な応用を例に上げ、基礎医学科目への学習意欲を高めるようにしている。
② 作成した教科書、教材、参考書		
1. 「分子生物学」（その後科目名が「細胞生物学」に変更）と「遺伝と遺伝子」の教材作成	2005年4月～現在	「分子生物学」と「遺伝と遺伝子」の講義内容の要約とスライド資料を添付した教材を作成。学生に毎回配布して学生の理解を高めると共に、学生自身による講義内容のノートへの記載を極力減らして講義への集中を高めるようにしている。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
分子細胞生物学	教授	白瀧 博通	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1990年9月～現在	日本生化学会学会員		
1991年9月～現在	日本癌学会学会員		
2004年5月～現在	日本消化管学会評議員		
2003年10月～現在	日本臨床生理学会評議員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Nogami S, Satoh S, T-Nakadate S, Yoshida K, Nakano M, Terano A, <u>Shirataki H</u> : Identification and characterization of taxilin isoforms. Biochem. Biophys. Res. Commun 319: 936-943, 2004.			
2. Kamai T, Yamanishi T, <u>Shirataki H</u> , Takagi K, Asami H, Ito Y, Yoshida K: Overexpression of RhoA, Rac1 and Cdc42 GTPases is associated with progression in testicular cancer. Clin. Cancer Res 10: 4799-4805, 2004.			
3. Yoshida K, Nogami S, Satoh S, Tanaka-Nakadate S, Hiraishi H, Terano A, <u>Shirataki H</u> : Interaction of the taxilin family with the nascent polypeptide-associated complex that is involved in the transcriptional and translational process. Genes Cells 10: 465-476, 2005.			
4. Kawano Y, Yoshimura T, Tsuboi D, Kawabata S, Kaneko-Kawano T, <u>Shirataki H</u> , Takenawa T, Kaibuchi K: CRMP-2 is involved in kinesin-1-dependent transport of the Sra-1/WAVW1 complex and axon formation. Mol. Cell Biol 25: 9920-9935, 2005.			
5. Abe H, Kamai T, <u>Shirataki H</u> , Arai K, Yoshida K: High expression of ran GTPase is associated with local invasion and metastasis of human clear renal cell carcinoma. Int. J. Cancer 15: 2391-2397, 2008.			
6. Sakakibara S-I, Nakadate K, Tanaka-Nakadate S, Yoshida K, Nogami S, <u>Shirataki H</u> , Ueda S: Developmental and spatial expression pattern of a-taxilin in the rat central nervous system. J. Comp. Neurol 511, 65-80, 2008.			
【症例報告】			
【総 説】			
【そ の 他】			